

パラフィン系潜熱蓄熱材「エコジュール®」の新型プリウスへの搭載について

1. 当社(本社:東京都港区虎ノ門二丁目、社長:松下功夫)は、このたび、自動車部品の製造会社である愛三工業株式会社(本社:愛知県大府市共和町一丁目、社長:小林信雄、以下「愛三工業」)に、当社が開発したパラフィン系潜熱蓄熱材(注1)「エコジュール®」の納入を開始しました。

(注1) 潜熱蓄熱材

潜熱とは、固体が融解時に外部から吸収する熱量もしくは液体が凝固時に外部へ放出する熱量のことで、これらを蓄える材料のことを潜熱蓄熱材という。

2. 当社が納入する「エコジュール®」は、愛三工業が生産する自動車部品“キャニスター”に使用され、このキャニスターは、トヨタ自動車株式会社が生産する北米仕様の新型プリウスに搭載されています。
3. キャニスターとは、活性炭を用いて燃料タンク内で発生するガソリン蒸気(注2)の 대기放出を抑制する環境対策用の自動車部品のことで、当社の「エコジュール®」は、その活性炭の温度を一定に保持する部分に使用され、キャニスターの性能向上に貢献しています。

(注2) ガソリン蒸気

自動車の燃料であるガソリンは揮発性が高いため、走行や炎天下での駐車によって燃料タンク内で気化し、ガソリン蒸気となる。これが大気中に放出されると、酸素や窒素化合物と結合して有害物質に変化するため、大気汚染の一因といわれている。

4. 「エコジュール®」を用いたキャニスターは、環境対策に有効であることから、今後、より多くの自動車メーカー・車種へ採用されることが期待されています。
5. 「エコジュール®」は、生活温度領域(3~30°C)の任意の温度で蓄熱できる潜熱蓄熱材のことで、「蓄熱量が大きい」、「安定した性能を長期間保持する」等の長足を有しており、自動車関連のほか、ビル空調用、建材用等多岐の用途に使用されています。
6. 当社は、現在、蓄熱空調分野を中心に「エコジュール®」の販売を進めていますが、今後、省エネルギーを通じて地球温暖化防止に繋がる同製品の用途拡大を図ってまいります。

以上

● 【参考資料】新型プリウスおよび「エコジュール®」が用いられたキャニスター(写真)

